

ご入学、ご進級おめでとうございます。今年度も、図書室のスタッフは変わらぬ5人です。楽しい企画も考えていますので、どうぞよろしくお願いします！



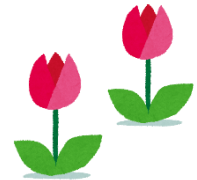
## 1. 平成29年度3月の貸出数

旧学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
3月	82	67	80	20	37	26	312
昨年度累計	1365	805	1292	275	285	244	4266

昨年度は入試関連本の貸出がなかったのにも関わらず、貸出数が伸びました！特に多読のリーダーの貸出が多かったです。3月の個人貸出数ランキングは、1位9冊（中2-4、高1-3、高1-4、高3-2）、5位8冊（中2-3）、6位7冊（中2-1）でした。※カッコの中は、現在のクラスです。

## 2. レイアウトが変わりました

資料をより探しやすいするため、本を並べる場所を変更しました。



### 【新書を一か所にまとめました】

これまで出版社別に並べていた新書を、わかりやすく一か所にまとめました。講談社ブルーバックス以外の新書は、背の高い書架に並んでいます。場所は、洋書コーナーの付近です（厳密に言うと、8類「洋書」と9類「文学」の間です）。

### 【「探求」のコーナーを作りました】

円形書架に、中学3年生の卒業研究、高校1年生で新たに始まった探求基礎の授業などを始めとする調べ学習のための資料を集めた「探求」のコーナーを作りました。まだまだコレクションが少なくはあるのですが、国勢図会、白書類など、随時収集していく予定です。

昨年度の卒業研究も、全員分展示してあります。特に受賞者の作品は読みごたえがありますので、ぜひ読んでみてください。

### 【CD・DVDの置き場が拡大しました】

場所は同じ円形書架なのですが、両面に拡大しました。クラシックがだいぶ充実してきました。

## 3. アカデミア通信 mini ができました



学校ウェブサイト上の図書室のページに、「アカデミア通信 mini」というコーナーを作りました。新しいフェアや新着本の入れ替え、図書室の日常など、随時更新していきますので、合わせてご覧ください。

## 新着資料案内

ほかにもたくさんあるので  
ぜひ図書室で見てください

### 『街の灯』北村薫 文春文庫 913.6/Ki68/1

「別宮みつ子と申します」そのひとは涼やかに名乗った。上流家庭の花村家が、令嬢・英子のために雇ったのは、その時代(昭和7年)には珍しい、女性の運転手だった。英子は、小説『虚栄の市』のヒロインの名にちなみ、彼女を「ベッキーさん」と呼ぶことに。二人が怪事件の謎を解く!



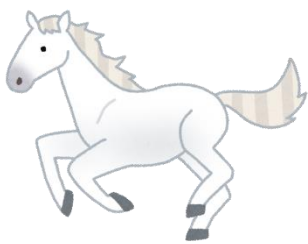
49頁あたりまでをまずは読んでみてください。「ベッキーさん」お目見えのシーンです。運転以外にも、剣の扱いや銃の腕前も確かで、文学にも精通する、とても魅力的な女性「ベッキーさん」。シリーズ全3巻が入りました。

### 『しゃべれどもしゃべれども』佐藤多佳子 新潮文庫 913.6/Sa85

俺は今昔亭三つ葉。26歳、落語家、ばあさんと二人暮らし。短気で石頭、三度のメシより古典落語が好きだ。ひょんなことから落語教室を始めたが、やって来たのは内気で口下手なテニスコーチ、大阪弁を喋るタイガースファンの小5男子、不愛想な元女優、野球解説をしゃべれない元プロ野球選手と、ワケありの奴ばかり。だが、それぞれの「ワケ」を聞くうちに、俺のおせっかいの虫が騒いで……。どの登場人物にも、作者の愛を感じます。



### 『ケルトの白馬／ケルトとローマの息子』ローズマリー・サトクリフ作 灰島かり訳 ちくま文庫 933/Su83



「ケルトとローマの息子」生まれてすぐ両親を亡くし、ケルト人の子として育てられた少年ベリックには敵対するローマの血が流れている。彼は15歳になる頃故郷を追われ、母国では奴隷にされてしまう。古代ブリテンを舞台にした歴史ファンタジー。

サトクリフは、主人公の辛い境遇を、容赦なく生々しく描いています。読んでいて苦しくなる場面もあるかもしれませんが、だからこそ、彼の長い旅にお付き合いください。居場所を求め、もがくベリックの行く末を見届けてください。

「ケルトの白馬」は古代の地上絵から発想を得た物語。本の袖にその写真があります。

### 『みそ汁はおかずです』瀬尾幸子 Gakken 596.21/Se76

みそ汁だけが載っているレシピ本です。和食も多様化していますが、ごはんのみそ汁の組み合わせは食卓のゴールデンコンビ。発酵食品の味噌は体によく、みそ汁にすると温野菜もたくさん摂ることができるので、積極的に食べたいメニューです。みなさんの好きな具はあるでしょうか? 写真を見ているだけでおいしそうです。



### 『起源図鑑』グレアム・ロートン著 ジェニファー・ダニエル絵 ディスカヴァー・トゥエンティワン 031/L44

英国発の人気科学雑誌「ニュー・サイエンティスト」と、Googleのクリエイティブ・ディレクターがタグを組んでできた、面白い本です。ブラックホールの起源や、目の起源など、あらゆるものの「始まり」が紹介されています。最近はやりのインフォグラフィック(知識や情報を視覚的に表現する)をふんだんに取り入れているので、文字だけの場合よりも印象が強に残ります。使い方は違うのかもしれませんが、プレゼン資料を作るときにも参考になりそうだと思います。

